

|                   | 4月   | 5月  | 6月  | 7月  | 8月   | 9月  | 10月   |
|-------------------|--|---|---|---|--|---|---|
| 子ども達に願うこと         | ・体を動かすことを楽しみ、自信をもって取り組む。   | ・運動遊びを楽しみながら上手にできなくても進んで取り組む。   | ・保育士の補助で安心して体を動かす。  | ・自ら体を動かそうとしたり、遊びの中でも運動遊びの動きを取り入れてみる。  | ・体の使い方が分かり、側転・跳び箱・逆上がりに挑戦する。   | ・年長児の姿に気付き、やってみようとする。<br>・運動会への期待を持つ。   | ・年長児や友だちの様子に気付き、動きのポイントを確認しながら体を動かす。  |
| 廊下<br>ホール<br>リズム室 | ①平均台・エアマット   | ①<br>②ぽっくりで遊ぶ   | ①②<br>③くもの巣<br>④年長クラスのくじ引きボックス<br> | ①②③④<br>⑤跳び箱<br>⑥サーキット遊びや運動あそび<br> | ①②③④⑤⑥<br>    | ①②③④⑤⑥<br>⑦鉄棒   | ①②③④⑤⑥⑦<br>              |
| 保育室               | ①保育室からの移動時に、くまさん・カンガルー・カエル・ワニさん<br> | ①   | ①<br>②フラフープジャンプ、ポックリ  | ①②  | ①②<br>③鉄棒  | ①②③<br>④運動支援の動きを昆虫に例える  | ①②③④  |
| 園庭                |  | ①鉄棒<br> | ①<br>②ポックリ  | ①②  | ①②   | ①②<br>③くまさん歩き<br> | ①②③<br>④体操後、鉄棒を必ず行う<br> |
| 配慮<br>保育士の<br>関わり | ・年少2クラスが年中で1クラスになり、戸惑いや不安が見られる子が多い。楽しく体を動かしながら友だちと関われるように配慮する。<br>・年少でやったことを反復する。                                    | ・基本的な動きができるので、もっと上手になるためのアドバイスをするようにし、この動きが何に繋がるのか(わにさん→逆上がり)を伝え、意欲を高めていく。                | ・時々鉄棒で手を放してしまう子がいるが「失敗するともっともっと上手になるから大丈夫。」と声をかけると泣けてしまうこともなく、またやろうとする。   | ・日常的に運動支援の動きが取り入れられるように工夫する。<br>・今できること、できるようになったことに自信がもてるように、他クラスの先生に褒めてもらったり、クラス内で発表したりする。                          | ・“できる子”を褒めるのではなく、“できない子”に目を向けてどうしたらできるようになるのかを“できる子”を通して伝えていくような工夫をする。                           | ・動きが適当になってしまったり、流してしまうようになってきたので、「かっこいいのはどんな動きかな？」と声をかけ、気付かせていく。<br>・「年長さんを見てごらん」と声をかけていく。            | ・全員鉄棒に取り組む時間を作る。<br>・「どうやればかっこよくできるの？」と上手な子や頑張っている子に声をかけ、子どもからアドバイスやポイントを教えてもらう。                            |
| 子どもの<br>変化        | ・年少時にやっていた基本的な動きはできるので、楽しく体を動かしている。<br>・年長児と運動支援に参加した子は、憧れの気持ちというより不安の方が大きい様子が見られた。                                  | ・年長児と一緒にいる動き(片足くま 側転うしがえる 逆上がり)はあまりやろうとせず、基本的な動き(くまさん歩き グーパージャンプ 前回り)を楽しんでいる姿がある。         | ・“失敗しても大丈夫だ”と思えたのか、進んで体を動かしたり、自由遊びのときも運動支援の動きをやっている子が増えた。しかし、個人差があり全くやらない子もいる。                                      | ・不安や戸惑いが少なく、子ども達が自ら進んで鉄棒に取り組む姿が多く見られた。<br>・年長児の運動支援を見ているので、年長児に対して憧れの気持ちも芽生えてきたように感じる。                                | ・「どうやったらできるようになるか」と聞くと、「わにさんをやった！」「片足くまさんをたくさんやればできるよ！」と子ども同士で伝え、今までできなかったことにも取り組んでみようとする意欲を感じる。 | ・運動会に向けて期待が高まり、かっこいい姿を見てもらおうと保育士の声掛けによく反応し、体を動かしている。<br>・年長児が行っている組み立て体操や旗に興味を持ち、真似している。              | ・子ども同士で「大丈夫！絶対できるよ！」「もっとこうするんだよ！」と教え合う姿がある。<br>・朝の時間や帰りの時間に、保育室前においてある鉄棒を楽しんで取り組み始める子が増える。                  |